

令和7年度 出会いから学ぶ人権学習 実施要項

- 1 目的 個別の人権課題について、その当事者や課題に取り組む人から体験や思いを直接聞くことにより、課題の現状を認識するとともに、自分との関わりや自らの生き方・在り方を見つめ直し、今後の人権教育の推進に活かす。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教職員及び市町村教育委員会指導主事

募集人数 aコース 60名
bコース 30名
cコース 50名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	a コース 7月23日(水) 9:30~12:30	ハンセン病問題から学ぶ 〔講義・協議〕	ハンセン病回復者支援センター コーディネーター 加藤 めぐみ ハンセン病関西退所者原告団 いちょうの会 会員
	b コース 11月5日(水) 14:00~17:00	人権尊重のまちづくりに学ぶ 〔講義・見学〕	にしなり隣保館ゆ〜とあい 事務局長 山村 裕太
	c コース 12月4日(木) 15:00~17:00	夜間学級で学ぶ姿を通して 〔講義・見学・協議〕	守口市立さつき学園夜間学級 教職員等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 aコース 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- bコース にしなり隣保館ゆ〜とあい（大阪市西成区出城2丁目5番9号 パークコート1・2階）

JR 大阪環状線「今宮」駅下車、南西へ約700m
Osaka Metro 四ツ橋線「花園」駅下車、北西へ約1,100m

- cコース 守口市立さつき学園夜間学級（守口市京阪本通2丁目5番5号）

京阪本線「土居」駅下車、東へ約100m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 大阪府教育センター及びその他の研修会場に、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
(4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題等がないか確認すること。

- 6 担当室 人権教育研究室

一括募集2

令和7年度 出会いから学ぶ人権学習 シラバス

1 目的

個別の人権課題について、その当事者や課題に取り組む人から体験や思いを直接聞くことにより、課題の現状を認識するとともに、自分との関わりや自らの生き方・在り方を見つめ直し、今後の人権教育の推進に活かす。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○														
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
a コース	ハンセン病問題 から学ぶ	ハンセン病問題について認識を深めるとともに、偏見や差別をなくすために、学校でできることについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題やハンセン病回復者の体験や思いを聞くことを通して、ハンセン病問題の歴史や現状、回復者とその家族の現状と課題について学ぶ。 ハンセン病への偏見や差別が現在の社会に投げかける問題について認識を深め、児童生徒に向けた具体的な取組みを班別で協議する。 	事前課題 人権教育リーフレット「ハンセン病問題に学ぶ①②」を読んでおく。
b コース	人権尊重のまち づくりに学ぶ	人々の願いを大切に、まちづくりを進める地域の取組みに学び、多様な人々の人権を尊重するためにできることについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 講義や見学を通して、差別をなくすために取り組んできた人々の姿に学ぶ。 社会にある差別や偏見をなくすために、行動することの大切さについて認識を深める。 	準備物 クリップボード
c コース	夜間学級で学ぶ 姿を通して	<ul style="list-style-type: none"> 中学校夜間学級に関する現状について学ぶ。 夜間学級で学ぶ生徒の姿や思いから、背景にある人権課題について認識を深め、学校での取組みに向けて展望を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校夜間学級における取組みや基本的な知識を学ぶ。 授業見学や生徒の聞き取りを通して、背景にある人権課題や「学ぶ」ことの意味を自らの実践と重ねて考える。 夜間学級の生徒との出会いから何を学び、何を子どもたちに伝えるかについて考える。 	準備物 クリップボード